



第7回講座 企画ブラッシュアップ/発表準備

日時：11月18日（火）18:30~21:00

会場：なは市民活動支援センター
会議室①

参加：受講生25名・チアーズ・ゲスト



なは市民協働大学院の第7回講座が11月18日に開催され、企画のブラッシュアップを行いました。各チームで企画したプログラムを実現するためにはどうしたら良いか、那覇市の各担当課やチアーズ（なは市民協働大学院応援団）、そして地域の各関係団体等、数多くの方々にご参加いただきご意見を伺いました。その後は、ファシリテーター石垣による「プレゼンのコツ・伝える技術」を学

第7回の流れ・ゲスト紹介

まずは各チームからお声かけしてお越しいただいたゲストの方々を紹介！

自治会やまち協、市役所等、様々な立場の方々にゲストとしてお越しいただきました。

この機会に様々な視点をいただきながら企画をブラッシュ

アップできたのではないのでしょうか。

企画ブラッシュアップ

ゲストやチアーズも混ぜて、講座内最後の企画ブラッシュアップの時間です。アドバイスのみならず、直接的なステークホルダーとなるゲストの方も。普段チームだけで進める時とは違う新たな視点も入ったことで、よりワクワク

する企画につながったチームもあるようです。

ゲストのみなさま、お忙しい中足をお運びいただきありがとうございました！

講義

「プレゼンのコツ」

続いて、最終発表に向けて、プレゼンテーションのコツを、事務局石垣から伝授！

①基礎基本編

・必要な情報を押さえる

誰に説明するのかによって、どこから説明するのかが変わります。

相手を想像しながら「聞き手」に合わせて情報を整理。自分達が伝える上で前提としているものも、聞く人にとっては知らない知識かも？

・時間を守る

優先して伝えるべきことは？最低何が伝わればいい？

伝わらなくてもいいこと・伝えるべきことを見極めて情報を「引き算」する。聞き手と自分達は何を共有できている、何が共有できていないのか、見極めが重要です。

②スライド編

・明確なメッセージ

重要なことは何なのか、明確に伝わるように。

スライド1枚にメッセージは1つ。補足の説明は口頭で！

・強調する

色は3色（モノクロ+2色くらい）以内に抑えるようにしましょう。他に、大きさやアンダーライン、色変え、太字・・・手法はいろいろありますが、ポイントは統一！スライドの中でその手この手で強調されていると、かえって見にくくなってしまいます・・・。

・図で示す

数字は、数を示すだけでなく図で意味を表し、印象を残すとGOOD！

また、今回は地域の話でもあるので、地図も相性がいいかも・・・？

・読みやすくする

- ・読みやすいフォント
- ・文字の量を減らす
- ・行間をあける
- ・細めのフォントですっきり見せる
- ・箇条書きにする
- ・高さと端を揃えるとききれい
- ・さらに前後のスライドと合わせると、よりGOOD！

③語り編

ストーリーをつくる：「起承転結」を忘れる！

プレゼンでは、結論が先でも大丈夫！作文ではないので、丁寧にステップを刻んだながーい前段は不要です！

例えば・・・

・PREP法

(要点・理由・具体例・まとめ)

・DESC法

(状況描写・訴える・提案する・選択を迫る)

全体から詳細へ、聞き手の思考プロセスに合わせて情報を編集しましょう。

そして、第6回でもお話ししたように、最後には「相手に、何をどう協力して欲しいのか」を伝えることが重要です！

・接続詞を使う:接続詞最強説

「接続詞」は前後の情報との関係性を教えてくれる

→聞き手が情報を受け取る準備ができる！

例えば・・・

と言われると、みなさんは具体例を待ち構えますよね？

これぞ接続詞の力！

そして実は、この接続詞を存分に生かすためにも、台本を書いて練習することがおすすめ！接続詞を意識的に使うことで、メリハリもつきましますし、時間も守ることもつながります。

・前を見て話す

台本を作って練習することは大切ですが、最後はやっぱり前を見て！

前を見ることで、伝えようという姿勢や自信も伝わりますし、表情から感情も伝わります。台本全てを覚えられていなくても、文章の最初・語尾と重要な部分は顔を上げるように意識しましょう！

ボディランゲージもたくさんのメッセージを伝えます。



いよいよ次は成果発表！

くじ引きで発表順を決め、修了式での受講生代表挨拶(首里ゆいまーの森)と、最後の打ち上げ幹事(真和志Wellbeing)も決まりました！

引き受けてくださった皆さん、ありがとうございます！それでは最後の発表まで、楽しんでいきましょうー！